

## 第10回 八戸市総合計画策定委員会 議事録

日 時：平成27年7月24日（金） 13:00～14:00

場 所：八戸グランドホテル2階 グランドホール

出席委員：26名

藤田委員長、大谷副委員長、岡田委員、青野委員、武輪委員、河村委員、澤藤委員、大黒委員、小野委員、類家委員、川本委員、古戸委員、田頭委員、中川原委員、平山委員、吉田委員、橋本委員、越後委員、平間委員、川村委員、浮木委員、工藤委員、馬場委員、米内正明委員、米内安芸委員、小向委員

（※欠席6名：門前委員、八木委員、松田委員、町田委員、西川委員、高木委員）

事務局：

大坪総合政策部長、中村総合政策部次長兼政策推進課長、久保政策推進グループリーダー、谷崎主幹、中野主査、佐々木主事

（株）ケー・シー・エス 東北支社 室谷、霜鳥、佐野、石田、岡田

次 第：

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報告案件  
報告 1. パブリックコメントの実施結果について
- 4 審議案件  
審議 1. 第6次八戸市総合計画（案）について
- 5 その他
- 6 閉会

### 次第 開会

司会：本日は、お忙しいところ御出席いただき、ありがとうございます。只今より、第10回八戸市総合計画策定委員会を開催いたします。本日の会議は、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。また、策定委員会終了後、引き続き専門部会を開催いたしますので、よろしく願いいたします。尚、本日は、門前委員、八木委員、松田委員、町田委員、西川委員、高木委員の6名が都合により御欠席となっていることを御報告いたします。また、河村委員におかれましては遅れて御出席の予定でございますので、併せて御報告いたします。

それでは、資料を御確認いただき、本日の会議に入りたいと思います。資料としては、先日お送りした次第、総合計画（案）、付属資料の主要事業の概要、会議資料1と2、そして、本日お配りしました席図、会議資料3でございます。過不足等ございましたら、事務局までお申し付けください。よろしいでしょうか。

### 次第 委員長あいさつ

司会 : それでは、議事に入る前に藤田委員長から御あいさつをお願いいたします。

委員長 : 本日は、大変お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。さて、この策定委員会も今回で10回を数えます。これまで委員各位の協力のもと計画の策定を進め、先日、公開討論会や2回目のパブリックコメントを実施したところでございまして、いよいよ終盤に差し掛かったという状況です。今後の予定について触れますと、先日、事務局から予定変更の連絡がありましたが、最後の会議を8月7日に開催し、そこで計画案の内容を最終的に確認した後、翌週12日に市長に提出することになります。そのため、本日の審議は、市長に提出する計画案の作成に向けて、意見を集約する最後の機会になろうかと思えます。このようなことから、先日、事務局から計画案やパブリックコメントで寄せられた意見等を送付し、委員各位に事前に御確認いただきました。本日は、計画原案からの変更内容を中心に審議を進めることによって、計画案の内容を固めてまいりたいと思えます。委員各位におかれましては、このような事情を御賢察いただき、策定委員会及び専門部会の議事の進行に御協力をよろしくをお願いいたします。

司会 : ありがとうございます。引き続き、藤田委員長に議事の進行をよろしく申し上げます。

#### **次第 報告 1. パブリックコメントの実施結果についてについて**

委員長 : それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

最初は、報告案件です。「報告 1. パブリックコメントの実施結果について」でございます。事務局から説明をお願いします。

#### **〔資料に基づき事務局説明〕**

委員長 : それでは、只今の説明に対して、何か御質問・御意見等ございませんでしょうか。特にないようですので、次に移ります。

#### **次第 審議 1. 第6次八戸市総合計画（案）について**

委員長 : 次に審議案件になります。「審議 1. 第6次八戸市総合計画（案）について」でございますが、冒頭の挨拶でも御説明したとおり、事前に委員の皆様から計画案を御確認いただいております。今回は、計画原案からの変更内容等を確認しながら、市長に提出する計画案の作成に向けて、修正意見を最終的に集約していきたいと思えます。なお、第5章戦略プロジェクトに対する修正内容に関しては、このあと引き続き各専門部会を開催しますので、各専門部会において審議いただきたいと思えます。それでは、事務局から説明をお願いします。

#### **〔資料に基づき事務局説明〕**

委員長 : それでは、只今の説明に対して、何か御質問・御意見等ございませんでしょうか。この会議が計画案を決定する最後の会議となりますので、修正意見に関しては具体的な御提案をいただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

A委員 : 会議資料3の意見の2番について、畜産業の注目指標の表は、どこから来たものなのでしょうか。根拠を教えてください。

事務局：只今の御質問に回答いたします。畜産業の振興の注目指標の「家畜の飼養頭羽数」の数字の根拠でございますが、平成20年と平成25年に関してはこれまで通り青森県からの数字でございます。平成32年の数字に関しては、八戸地域畜産関連産業振興ビジョンで今後の目標数字を定めておりました、そこから算出された数字でございます。

A委員：そうなりますと、県のデータと市のデータが混在するという点に対して、説明が必要なのではないでしょうか。

事務局：只今の御意見に関しましては、平成32年の数値は全て推計値でございます。実績の数値を把握していく上では青森県の統計結果を参考にさせていただきたいと考えておりますので、そういったことで御理解いただければと思います。

A委員：平成32年に関しては青森県の予想数値ではないということだと思います。

事務局：その通りでございます。

A委員：そこは誤解がないような表記をしなければならないと思います。

委員長：市の関係のビジョンからデータを持ってきたということですから、それを46ページの注目指標に掲載し、2つのデータの出典を出すとすれば、どちらのデータが平成32年の推計値なのかという話になりますので、その辺りについてもう一度説明をお願いします。

事務局：実績値に関しましては、注目指標の下に掲載している資料から抜粋しているものになります。そのため、例えば「家畜の飼養頭羽数」に関しましては、平成20年、平成25年は青森県のデータを持ってきているという書き方になります。平成32年の数値に関しては、こちらに限らず全ての注目指標が総合計画における今後の推計値となっております。中には、市の個別の計画で目指すべき数値を掲げているものもございますが、大概が今回の総合計画の策定に当たって、担当課が平成32年にはこのくらいになるであろう、また、目指していきたいというような形で設定をさせていただいたものでございます。この点についての説明を記載するとすれば、総合計画全体の説明の中で、例えば、実績値に関しては表の下に書いてあるとおり、平成32年については市の推計値ですというように少し工夫が必要だと思っておりますので、記載方法等については検討させていただければと思います。

委員長：平成20年、平成25年は県の実績値ですが、考えてみると平成32年は市が策定する総合計画における期待値ですので、根拠さえあればどこから引用したかについては、必要ないかもしれません。

事務局：補足をさせていただきます。パブリックコメントを実施した際に、募集チラシに4章及び5章の見方を添付させていただきました。最後に冊子の編集をするときに見方についても見やすい形で掲載したいと考えておりますので、その中で対応させていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

委員長：よろしいでしょうか。(A委員了承)ありがとうございます。他にございますか。

B委員：会議資料3の意見の1番と3番について、事務局で対応していただきありがとうございます。私の方から付け加えることはございません。5番目の意見の資料編についてですが、目次の追加と統計の簡単な解説をお願いしたいという意味は、計画の本編の中の根拠となる統計があると思いますので、文章の中で資料1参照というように記載いただければ、分かりやすいと思います。御配慮いただき、冊子を編集する際の検討の中に加えていただければよいと思いますので宜しくお願いします。

委員長：資料編の統計について、本文中に参照として入れるというお話しでした。御検討をお願い

します。他にいかがでしょうか。

C委員 : 115 ページ、生業づくり戦略に「六次産業化プロジェクト」がありますが、各種団体との意見交換の際に、私どもの団体の若手が「六次産業化」という言葉と意味をもう少し市民に知らせていくべきだという意見を出してきたという報告を受けました。「六次産業化」をインターネットで検索しますと「農林水産業の生産（第一次）、食品加工（第二次）、流通・サービス・情報（第三次）の一体化を推進して、地域に新たな食やビジネスを創出しようとする取組」というものが出てきます。115 ページの裏を見ると、116 ページに結構な空いたスペースがありますので、「※六次産業とは」と加えていただくと、より分かりやすくなるのではないかと思います。先程、別に冊子を作成するということでしたので、そちらの冊子へも「六次産業化とは」と書き加えていただければ、より良いのかということで発言させていただきました。以上です。

委員長 : 戦略プロジェクトの部分です。専門部会の中で更に詰めていただきたいと思いますので、宜しくをお願いします。

事務局 : 165 ページから用語の解説という欄を設けておりまして、総合計画に出てきます様々な用語についての解説を載せております。その中で 169 ページの下から 2 つ目に「六次産業化」ということで解説をさせていただいております。

C委員 : そこまで見ていませんでした。これでよろしいかと思います。

A委員 : 解説がある単語に印がないです。印がないと読む方へは親切ではないと思いますのでよろしくをお願いします。

事務局 : その点につきましては、冊子を作成する際に検討させていただき、見やすい形で提示いたします。

D委員 : 132 ページに基金残高として平成 25 年に 79 億円、平成 32 年に 50 億円以上という部分について、そもそも基金というのはどのような時に使われるために積みあげていくのか、或いは平成 32 年の時に減っているという事は何か計画があるのか知りたいです。

事務局 : まず平成 32 年 50 億円以上というのは、第 6 次八戸市行財政改革大綱の中で指標として示されている数字でございます。財政調整基金・市債管理基金というのは何かと申しますと、基金というものは毎年市の税金等の歳入と、様々な事業に使った歳出を差し引いた黒字部分を積み立てていくものでございます。なぜ積み立てていくかといいますと、市政運営において、何か急遽使わなければならない、市民の為に事業を実施していかなければならない、大きな赤字が出る見込みがあった時にその補填をするために用意しておく金額でございます。また、単年で大きな建物を建てるのではなく、ローンを組んで年間の財政の均衡を保っていくような形をとっていますので、そこに向かって市債管理のための預金をしているものでございます。この基金に関しましては、どんどん増えていくという事は、毎年黒字を作っていく事になりまして、市民の為にお金が使われていないという事になります。逆にかなり少ない金額になりますと、いつ市が赤字になるか分からない状況になります。そのため、どの程度が適正な預金なのかというのは特に示されるものではなく、全国的な平均金額ということで 50 億円以上と設定しております。

E委員 : 専門部会でお話しがあると思うのですが、戦略プロジェクトに新規事業が随分入ったなという印象でした。その中で特に会議資料 2 の 13 ページにあります「はちのへ縁結びプロジェクト事業」について、どういう内容か分からないまま入ってきています。担当部署は役所

で決まっているかと思いますが、事業名とどの部署が行うのか違和感があります。ここについては、いつ決まって急に入ってくるような形になったのでしょうか。

事務局 : まず新規の事業ですが、元々様々な人口減少対策に向けて事業を計画しておりましたが、ある程度確定したものが出来なければ事業が載せられないという事で、常にスピード感を持って計画して参りました。今回目処が付いたということで載せさせていただいたものでございます。そういった中で、「はちのへ縁結びプロジェクト事業」というのは結婚支援を市で行っていこうという事業です。これまで結婚支援というのは行政が携わってこなかった部分でして、概要に書いてあるとおり、結婚に対する意識啓発から進めていこうと考えております。結婚支援は直接的に進めていくのは難しいものでございますので、意識啓発から始めて、出会いの場のイベント等の情報提供が出来ればというところの内容でございます。担当部署の子育て支援課につきましても、先程申し上げたとおり結婚支援をこれまで行政が考えてきていなかったということがありまして、今回結婚・出産・子育てを具体的に考えて、子育て支援課が良いだろうという判断で入っております。

F委員 : 只今の「はちのへ縁結びプロジェクト事業」の件ですが、私は自治体経営戦略部会のメンバーなのですが、実は地域の町内の中でどんどん人口減少が進んでいる中、八戸市連合町内会連絡協議会でこの件についてお話がありました。どうしても出会いの場が無い。結婚したい人が60%程いるが、出会いがない人が55%と約半分位を占めている。結婚年齢が20年前と比べて4歳ほど高くなってきており、統計では男性は31.1歳、女性は29歳という事です。大きな事業を進めていくのも一つですが、本当の人づくりということで地域と連携して行っていければという案の相談を受けていました。やはり人口が増えていかないことにはどうにもならないため、そういったお手伝いをしていくという事を含めてこちらに書いてあると思います。これから連携していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

委員長 : この事業は皆さん良いと感じているかと思いますが。今の御質問は経緯を聞きたいということだったかと思いますが。

G委員 : 資料編の年表ですが、2行に渡って書かれている部分があります。どこまでがどの内容か分かりにくく、文頭に点等を打った方が分かりやすいかと思いました。

事務局 : 編集の段階において工夫をさせていただきます。

B委員 : 計画案の112ページでございますが、人づくり戦略部会の中で意見として出てくる部分が出生率の問題です。プロジェクト指標②合計特殊出生率が何度か議論になっておりまして、平成32年は1.44以上ということです。このまま1.44という指標のままでいくと人口減ということで市の発展あるいは財政の問題についての大きな支障になるのではという議論が何度か行われています。指標を出生数に変えたらとの意見がありましたが、市から説明がありましたのでこの後の部会で議論したいと思っております。他の自治体では、現状維持出来るのが10年後2.06この辺りだと聞いております。1.44では現状を肯定せざるを得ないため意欲としては低いという気がします。また議論して御報告いたしますが、委員の皆様方にも御検討いただき御意見をお寄せいただければありがたいです。以上です。

委員長 : その他、専門部会で御検討いただきたい事がありましたらどうぞ。特に無いようですので、本日の審議はこれまでといたします。なお、先ほども申し上げたとおり、第5章戦略プロジェクトについては、この後に開催する専門部会で審議していただくこととなりますが、専門部会は本日が最後の開催となる予定です。計画案の完成に向けて、第5章戦略プロジェクト

に対する修正意見を最終的に集約していただきますよう、よろしく申し上げます。また、事務局は只今の策定委員会とこれから行う専門部会の審議結果を踏まえて、計画案の作成をお願いします。

#### **次第 その他**

委員長 : 本日予定していた案件は以上ですが、皆様方から何かございませんでしょうか。事務局から何かございますか。

事務局 : それでは、事務局から連絡事項が2点ありますのでお伝えいたします。はじめに、次回の会議の開催について御連絡いたします。本日の専門部会が最後の開催となりますことから、次回は策定委員会のみで開催となります。お手元に開催案内をお配りしておりますが、そちらに記載のとおり、8月7日、金曜日の14:00から、場所は今回と同じ八戸グランドホテルを会場に開催する予定となっております。次に、このあとに開催される専門部会について御連絡いたします。本日の専門部会は14:05から開始したいと思います。会場をそれぞれ準備しておきまして、人づくり戦略部会は2階翔鶴の間、生業づくり戦略部会は1階マリンホール、安心づくり戦略部会と魅力づくり戦略部会は、引き続きこの会場のパーテーションの向こう側に、自治体経営戦略部会は3階双鶴の間となりますので、委員の皆様におかれましては資料、筆記用具等をお持ちいただき、所属する専門部会の席に移動をお願いいたします。なお、専門部会での審議が終了次第、各部会随時解散となりますが、15:00を目処に会議を終了いただきますようお願いいたします。以上です。

委員長 : それでは、進行を司会に戻します。

#### **次第 閉会**

司会 : 本日は御審議いただきましてありがとうございます。以上をもちまして、本日の策定委員会を終了させていただきます。この後、専門部会が開催されますので、委員の皆様、引き続きよろしくお願いいたします。

以上